

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	フルフラールチェック・ユニ 発色液 A		
製品説明	油中フルフラール簡易測定試薬		
会社名	株式会社 ユニケミー		
住所	〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬1-11-1		
担当部門	技術部		
電話番号	(052)682-5069	FAX番号	(052)681-8646
緊急連絡先	同	上	

2. 危険有害性の要約

塩酸（塩化水素）

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性／引火性ガス	区分外
支燃性／酸化性ガス類	区分外
高压ガス	区分外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分3
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入：ガス)	区分3
急性毒性(吸入：蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入：粉塵, ミスト)	区分2
皮膚腐食性／刺激性	区分1A-1C
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：区分1 皮膚感作性：区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分外
生殖毒性	分類できない
標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分1(呼吸器系)
標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分1(歯, 呼吸器系)

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) 区分 1
水生環境有害性(慢性) 区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

吸入すると有害

吸入すると生命に危険

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

重篤な眼の損傷

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ

臓器(呼吸器系)の障害

長期または反復暴露による臓器(歯, 呼吸器系)の障害

水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

取り扱い注意事項をよく読み、理解してから取り扱う。

粉じん, ミスト, 蒸気などを吸入しない。

換気の良い場所でのみ使用する。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しない。

適切な保護手袋, 保護眼鏡, 保護衣, 保護面, 保護マスクなどを着用する。

取扱い後はよく手を洗う。

救急処置

吸入した場合; 新鮮な空気の場所に移し、安静保温に努め、医師の処置を受ける。

呼吸困難または呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。

飲み込んだ場合; 口をすすぐ。大量の飲ませ薄める。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。

眼に入った場合; 流水で15分間洗い流す。1～3%の重曹で洗眼する。医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合; 汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。炎症を生じたときは、
医師の処置を受ける。

保管

容器は密閉して冷暗所で保管する。施錠して保管する。

廃棄

内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物	
成分名	塩酸	2,4-ジニトロフェニルトラジン
含有量	2%以下	0.02%以下
化学式又は構造式	HCl	$C_6H_3(NO_2)_2NHNH_2$
官報公示整理番号(化審法)	1-215	3-478
C A S N o .	7647-01-0	119-26-6

塩酸

分類の名称	腐食性物質
火災・爆発性	この製品自体は不燃性であるが、各種の金属を腐食して、その際に爆発性のある水素ガスを発生する。
有害性	皮膚、目などを刺激し、炎症を起こす。蒸気は、目及び呼吸器官を刺激し、多量に吸入すると肺水腫を起こすことがある。
環境影響	環境に排水（排出）した場合、環境汚染の恐れがある。

2,4-ジニトロフェニルトラジン

分類の名称	分類基準に該当しない。
火災・爆発性	乾燥状態では加熱、衝撃などにより爆発することがある。
有害性	皮膚、目などに付着すると、刺激して、炎症を起こす。粉塵を吸入すると、鼻、のど、気管が刺激されて咳、呼吸困難などを起こす。
環境影響	データ無し。

4. 応急措置

目に入った場合	直ちに流水で15分以上洗う。速やかに医師の診断を受ける。
皮膚についた場合	直ちに大量の水で十分に洗い流す。痛みやかゆみが残る場合は、医師の手当を受ける。
吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。必要に応じて医師の診断を受ける。
誤飲した場合	牛乳又は酸化マグネシウムを水に分散させたものを徐々に飲ませ、速やかに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法	①速やかに容器を安全な場所に移す。 ②移動不可能な場合は、火災にさらされた表面及び周囲に散水して冷却する。
------	--

③適切な保護具(耐熱着衣)を使用する。

消 火 剤 水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂などの消火剤を使用する。

6. 漏出時の措置

- ①作業の際には適切な保護具(手袋、保護メガネ、防毒マスク)を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。
- ②風上から作業し、風下の人を退避させ、他漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ③漏洩した液は、土砂等に吸着させ、空容器に回収する。漏洩した場所は水酸化カルシウム、又は炭酸ナトリウム水溶液を散布して中和した後、水で十分に洗い流す。
- ④回収物は乾燥しないよう適量の水を散布する。回収物の保管、輸送に際しても十分に水分を含んだ状態を保つようにする。
- ⑤回収物等は、関係法規に基づき処置をする。

7. 取扱い及び保管上の注意

- | | |
|-----|---|
| 取扱い | ①皮膚に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を必要に応じて使用する。
②屋内作業場の場合、適切な排気装置を設け、換気を良くして取り扱う。
③火気を避け、摩擦、衝撃を与えない。 |
| 保 管 | ①密栓して冷暗所に保管する。
②金属製の容器は使用しない。
③アルカリ性物質と一緒に保管しない。 |

8. 暴露防止及び保護措置

塩 酸

- | | |
|-------|---|
| 管理濃度 | 設定されていない。 |
| 許容濃度 | 5ppm、7.5mg/m ³ (日本産業衛生学会,2002年)
5ppm、7.5mg/m ³ :TLV-STEL (ACGIH,2002年) |
| 設備対策 | 必要に応じて局所排気装置を設ける。 |
| 保 護 具 | 保護服、保護メガネ、ゴム手袋等 |

2,4-ジニトロフェニルドラジン

- | | |
|-------|-------------------|
| 管理濃度 | 設定されていない。 |
| 許容濃度 | 設定されていない。 |
| 設備対策 | 必要に応じて局所排気装置を設ける。 |
| 保 護 具 | 保護服、保護メガネ、ゴム手袋等 |

9. 物理的及び化学的性質

- | | |
|-----|---------|
| 外 観 | 淡黄色透明液体 |
| 臭 気 | わずかな刺激臭 |

沸 点	約 100℃
比 重	1.01(20℃)
溶 解 度	水：自由に混合

10. 安定性及び反応性

塩 酸

安定性	通常条件で安定である。
反応性	アルカリ性物質と接触すると反応する。
その他	日光、熱を避けて保管する。

2,4-ジニトロフェニルトラジン

安定性	粉末に急激な加熱や衝撃を加えると爆発することがある。
反応性	いおう、ガソリンなどと混合したものは、摩擦、衝撃により爆発することがある。
その他	日光、熱、酸化剤を避けて保管する。

11. 有害性情報

塩 酸

刺激性(皮膚、目)	目に入ると目が刺激され、視力障害を起こすことがある。
急性毒性	蒸気を吸入すると、のど、気管支、肺などが刺激され、塩化水素の濃度が 1000ppm になると死亡することがある。 ウサギ(経口):LD50=900mg/kg ヒト(吸入):LC50=1300ppm/1H
慢性毒性	データ無し。
変異原性	ハムスター(生体外):染色体異常:陽性。
生殖毒性	データ無し。
催奇形性	データ無し。

2,4-ジニトロフェニルトラジン

刺激性(皮膚、目)	皮膚や目を刺激し、炎症を起こすことがある。
急性毒性	蒸気や粉塵を吸入すると、鼻、のどが刺激され、咳、呼吸困難などを起こす。 ラット(経口):LD50=654mg/kg
慢性毒性	データ無し。
変異原性	データ無し。
生殖毒性	データ無し。
催奇形性	データ無し。

12. 環境影響情報

移動性	データ無し。
-----	--------

残留性/分解性 データ無し。

生体蓄積性 データ無し。

環境影響/生態毒性

水生生物に対して有害である。

13. 廃棄上の注意

①徐々に水酸化カルシウムなどの溶液に加え、中和した後、多量の水で希釈する。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

②空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去した後に、産業廃棄物処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意

塩 酸

国内規制

船舶安全法 危規則第 3 条危険物告示別表第 3 腐食性物質

航空法 施行規則第 194 条危険物告示別表第 11 腐食性物質

国連分類 クラス 8 (腐食性物質) 等級 II

国連番号 1 7 8 9

2,4-ジニトロフェニルドラジン

国内規制

船舶安全法 危規則第 3 条危険物告示別表第 6 可燃性物質類

航空法 施行規則第 194 条危険物告示別表第 4 可燃性固体

国連分類 クラス 4. 1 (可燃性固体) 等級 III

国連番号 1 3 2 5

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては直射日光を避け、容器に漏れのないことを確認して転倒・落下・損傷がないよう、積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

塩 酸

化学物質管理促進法 (P R T R) 非該当

毒物及び劇物取締法 非該当

労働安全衛生法 政令別表第 3 特定化学物質等障害予防規則(第 3 類物質)
施行令第 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物(政令第 99 号)
pH を下降させる。

船舶安全法 危規則第 3 条危険物告示別表第 3 腐食性物質

航空法 施行規則第 194 条危険物告示別表第 11 腐食性物質

港則法 施行規則第 12 条危険物告示 腐食性物質

2,4-ジニトロフェニルトラジン

化学物質管理促進法（P R T R）	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
船舶安全法	危規則第 3 条危険物告示別表第 6 可燃性物質類
航空法	施行規則第 194 条危険物告示別表第 4 可燃性固体
港則法	施行規則第 12 条危険物告示 可燃性物質類

16. その他

記載内容の問い合わせ先

(株) ユニケミー 技術部 TEL 052-682-5069

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、製品を取り扱う事業者提供されるものです。この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありません。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。また、含有量、物理的及び化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。